

令和5年度

第2回

自己評価委員会報告書

於：令和6年2月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

第2回 自己評価委員会報告書

日 時：令和6年 2月14日（水） 10：30～12：30

場 所：松本理容美容専門学校 会議室

出席者名：(学園) 長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務主事・桐山事務局長

(学校) 松林校長・柏原教務主任

長尾理事長挨拶

自己評価委員会の認定校になってからの両校の教職員レベルが向上してきていると感じている。

年々自己評価の内容・中身が濃くなってきている。

自己評価委員会をやる意味として、今後の学校運営に必要な機会である。

【審議検討事項】

1. 令和5年度自己点検・自己評価について

令和5年度報告として、教育理念の3項目・学校運営の3項目・教育活動の7項目・学修成果の3項目・学生支援5項目・教育環境の2項目・学生募集と受け入れ3項目・法令等遵守の4項目・社会貢献の2項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告と併せて、評価4から下がった項目について原因・理由・今後の対策について細かく説明を行い、対策方法等について意見交換を行った。

評価4を、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

特に評価が下がった項目について、急務となる課題を率先的に解決していけるよう意見を出し合い前向きに対応していく。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

- ・基準2：パンフレット・HP内容について、希望があれば提案してほしい
教員不足の件について、短期的・長期的視点で考えていく
学生情報管理システムの構築について、3月学園研修にて意見を出し合い、6月校長主任会にて検討していく
- ・基準4：サービス接遇検定合格率について、入学時に学費として集金している学校推奨の検定のため100%でなければならない。授業内容・講師についてきちんと検討して欲しい
- ・基準5：カウンセリングの在り方について、生徒たちにとって意味のある機会であるため有効活用していけるよう方法を検討していく
- ・基準6：実務実習の効果は非常に生徒たちにとって成長の機会となっている
- ・基準7：学生募集の厳しさを感じている。より一層工夫し現状より増加していくよう方策を工夫しあきらめずに学校の魅力を伝え、学生募集に力を入れていく

2. 令和5年重点目標について

○令和5年度重点目標の実施状況の報告

重点目標① 【 教育活動 】

●生活習慣の基本

相手の立場に立ち、気持ちよい空間をつくれる気遣いができるよう育てる。

当たり前のことが当たり前に見える人に育てる

●学び続ける教職員・教職員の技術力向上

教職員自身が更に美容の知識を深め、技術を高めていく。

●社会貢献

社会への関心を持ち、社会とのつながりの中で美容業の貢献と発展を考えていける基礎を作っていく。

- ・「学生は鏡」と捉え、学生ができていない場合は、教職員として自分はできているのかを振り返り、模範となるよう意識して行動していく。卒業後も見据え、主体性を持ち気配りや心配りができる人材の育成をしていく。
- ・朝礼、終礼時には主任を中心に技術指導や生活指導について各学年、学科ごとに職員共有はしてきたが、職員同士の手合わせなど、指導者としての技術・知識の向上や多様化する学生への指導について探求する時間の確保が難しいのが現状。

重点目標② 【 教育環境の整備 】

●相談できる職員間・生徒育成のための教員としての力をつける。

一人ひとりがクラス問わず注意深く観察することで、生徒の特長や様子を踏まえて相談やアドバイスが自然にできる。

●生徒も職員も学校が楽しいと思える雰囲気

- ・学生との信頼関係を築くことは重要だが、情報共有することでクラスを超えて声掛けや指導ができたことで、担任には言えないことも自然と相談できる環境作りができた。また、学生から得た情報を気さくに話し合える職員間の関係が良好なことも、良い意味で学生に影響があった。
- ・不安定な生徒が多い中いち早く変化に気づき、自分の気持ちを素直に話せる雰囲気のある個人面談を設けることが大切に感じる。担任以外の先生に声を掛けられることも、学生にとって自分を認識してもらえてるという実感を与え、前向きな学校生活に繋がる。
- ・学生数に対して教職員数が足りておらず、個々の教職員の負担が大きすぎる。改善を訴えてきたが改善されず、教職員の精神面、体力面を考えても限界にきている。早急に改善を図らなければ、学校崩壊してしまう危険性を感じる。

重点目標③ 【 学生募集 】

●リサーチを行い、新しいアイデアと実行力で日々改善

他校や他業種などの情報収集しつつ、生徒の新しいアイデアや行動力、連携など係活動がスムーズに行えるようフォローしていく。

●在校生、卒業生、業界と共に魅力を発信

少子化に向け生徒募集に関しては特別な対策を施していかなければならない。

- ・オープンキャンパス係長は、複数の候補者の中から選出するほど人気の係になっている。これも高校生の頃の体験や在校生の楽しいそうな様子を見てきた結果、引き継がれている良い流れだと感じる。オープンキャンパスでの学生の様子は、憧れの先輩として影響力が大きい。そういった学生を育成してきた、教職員の努力や指導力の賜物である。

少子化及びコロナ5類移行に伴い県外流出の恐れがある中、昨年同様の入学生獲得は十分できていると思う。

- ・在校生が卒業高校へ出向き、イベントPR活動をしてくれた。また、学生発信のSNSにも係を中心に投稿内容を検討し、学校の魅力が発信できるよう努力をしてきたことで、フォロワー数も増加した。

今後も、写真の撮り方や加工の仕方、美容学生らしさが表現できるよう、更に盛り上げていきたい。

- ・県外への就職ができることは大事だが、地元サロンで活躍する卒業生も沢山いるので、そういった卒業生の協力を得ながら、長野県内の美容業のPRを強化し、県内美容業の発展や学生募集に繋がれるとよい。

今後、重点目標についてと課題についても、結果を出していき、令和6年度へとつなげていく。

引き続き継続できるよう向上していき、学校教育の質を上げていく。

より良い学校にするべく努力していく。

○令和6年度 重点目標

- ① **教育活動** 「生活習慣の基本」 元気な挨拶・素直な心・美しい環境
「社会貢献」 美容の社会的意義

- ② **教育環境の整備** 「安心して学べる環境」
カリキュラムの魅力発信・成功体験の積み重ね・一人ひとりに寄り添う

- ③ **学生募集** 「学生会などの学生の自主性を促す」
「卒業生・業界との連携」

3. 学校関係者評価委員会より報告

- ・令和5年度自己評価中間報告
- ・令和5年度重点目標の実施報告・課題の説明
- ・令和5年度重点目標 ①教育活動 ②教育活動の整備 ③学生募集
- ・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について

以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

学校関係者評価委員の報告が、第三者評価になっていくので、今後活かしていく。

4. 教育課程編成委員会より報告

- ・令和5年度自己評価中間報告
- ・令和5年度重点目標の実施報告・課題の説明
- ・令和5年度学校関係評価委員会報告
- ・令和5年度 カリキュラムについて
- ・生徒の様子及び業界から

以上が、教育課程編成委員会にて検討した事項の報告

5. 次回 第1回自己評価委員会 令和6年7月23日(火) 10:30～(松本校)

令和6年度 自己評価中間報告

令和6年度 重点目標中間報告